



|                     |                                                                                                                           |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Title               | 韓国外食企業による青果物調達構造の再編とその論理 [論文内容及び審査の要旨]                                                                                    |
| Author(s)           | 朱, 在昌                                                                                                                     |
| Degree Grantor      | 北海道大学                                                                                                                     |
| Degree Name         | 博士(農学)                                                                                                                    |
| Dissertation Number | 甲第12703号                                                                                                                  |
| Issue Date          | 2017-03-23                                                                                                                |
| Doc URL             | <a href="https://hdl.handle.net/2115/65645">https://hdl.handle.net/2115/65645</a>                                         |
| Rights(URL)         | <a href="https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/">https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/</a> |
| Type                | doctoral thesis                                                                                                           |
| File Information    | Joo_Jaechang_review.pdf, 審査の要旨                                                                                            |



## 学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称 博士(農学)

氏名 朱 在 昌

|       |    |     |         |
|-------|----|-----|---------|
| 審査担当者 | 主査 | 教授  | 坂 爪 浩 史 |
|       | 副査 | 教授  | 坂 下 明 彦 |
|       | 副査 | 准教授 | 小 林 国 之 |
|       | 副査 | 講師  | 清水池 義 治 |

## 学位論文題名

韓国外食企業による青果物調達構造の再編とその論理

本論文は序章、終章を含む7章からなり、図 12、表 26、文献 91 を含む総頁数 72 の和文論文である。別に2編の参考論文が添えられている。

本論文は、韓国の外食産業の成長を主導している大型外食企業に焦点を当て、外食企業による青果物調達構造の再編とその論理について明らかにしたものである。韓国においては、国民の所得水準が高くなるにつれて外食に対する消費支出も増加し、外食産業は持続的に成長してきた。このような外食産業の成長は、韓国において青果物流通に大きな影響を与えると考えられる。そこで、韓国の外食企業による調達行動を起点とし、調達先の対応さらには新たな流通機構の形成までを含む青果物調達の仕組みを調達構造と定義し、その再編論理を解明することとした。分析結果は以下の通りである。

第1章では、韓国における外食産業成長の背景と外食フランチャイズ企業の動向を把握した。韓国においては国民所得の増加と食の外部化の進展によって外食産業が成長しており、外食フランチャイズ企業も持続的な成長が進んでいることを確認した。

第2章では、大型外食フランチャイズ企業による青果物調達行動の特徴について分析した。外食企業においては、主力品目の本部調達とバンチャン(注文した料理の前に出てくるキムチ類など)用青果物の加盟店独自調達が並存している。このうち本部による青果物調達においては、価格変動のリスクが高いため卸売市場の利用が一部に留まり、また産地からの直接調達も数量の安定確保が難しいため減少しており、納入業者からの調達が増加していることを明らかにした。

第3章では、韓国青果物流通における卸売市場の位置付けと仲卸業者の外食企業への対応について分析した。韓国では卸売市場への個人出荷の割合が非常に高いこと、価格変動リスクを負担し、加工機能ももって外食企業に対応できるのは、ごく一部の大規模な仲卸業者に限られていることを明らかにした。

第4章では、外食企業と直接取引している生産者団体の販売・調達行動について分析した。このうち営農組合法人は単一品目化と品質差別化を通じて有利販売を実現していることを明らかに

した。一方で、単位農協においては広域集荷や大規模な加工・物流機能を有する農協流通センターを整備することによって対応していることを明らかにした。

第5章では、外食企業向け納入業者の性格と存立根拠について分析した。納入業者は分散卸型納入業者、収集卸型納入業者に大別できること、分散卸型納入業者は卸売市場からの調達を中心で、多品目の確保とセントラルキッチン・配送センター機能を一部代替しながら、多数の外食企業への販売を実現していること、収集卸型納入業者は多数の生産者および生産者団体からの集荷を通じた物量確保とともに卸売市場を利用した数量調整や不要等階級の処理を実現していることを明らかにした。こうして納入業者は、外食企業が直接調達を行うよりも効率的でなおかつ低いリスクで青果物を調達し、外食企業に供給することを可能としており、このことが存立根拠であることを明らかにした。

終章では以上の分析を総括し、韓国外食企業による青果物調達構造の再編とその論理を明らかにした。韓国外食企業は生産者、単位農協、産地商人、卸売市場の仲卸業者からの調達割合を減らす一方で、営農組合法人や農協流通センター、納入業者からの調達割合を増加させている。ただし、外食企業による青果物調達の経路上から、既存の調達先(農協・卸売市場等)が排除されたわけではなく、これらの調達先と外食企業との間に、新たに形成された納入業者や農協流通センターが介在することで、実際には多段階化が進んでいたのである。その理由は、産地出荷単位ならびに仲卸業者が零細に止まっている状況の下では、外食企業自らが直接調達するには費用が嵩むため、外食企業の意を受けた納入業者等を利用した方が効率的だからである。納入業者等は多数の外食企業等に販売することによって、青果物の調達にかかる費用をこれら販売先に分割することができ、結果、外食企業が直接調達するよりも効率的な調達が可能となるのである。

本論文で明らかにされた、外食企業による青果物調達構造の再編とその論理は、産地出荷組織の未成熟な段階では、産地からの直接集荷よりも中間に納入業者を介在させた方が効率的になること、卸売市場も流通経路上で重要な役割を果たしていることを実証したものとして高く評価できる。わが国を含めて、市場流通政策は、産地直結など短い流通経路がより効率的である、と誤解したまま立案されがちである。本論文は外食企業の調達行動に指針を与えるだけでなく、市場流通機構の整備等に関する政策立案にも貢献しうるきわめて重要な研究であるといえる。

よって、審査員一同は、朱在昌が博士(農学)の学位を受けるのに十分な資格を有するものと認めた。